

ニーズ調査および実績を踏まえた 量の見込みについて

1. 計画期間における年齢各歳別人口

年齢	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
0歳	163	157	153	151	147
1歳	169	169	162	158	156
2歳	173	169	169	162	158
3歳	247	174	170	170	163
4歳	191	245	173	169	169
5歳	268	188	241	170	166
6歳	254	268	188	241	170
7歳	276	251	265	186	238
8歳	298	279	254	268	187
9歳	328	299	280	255	269
10歳	282	329	299	280	256
11歳	296	279	326	296	277

【参考】実績値

年齢	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
0歳	272	207	244	167	164
1歳	251	269	198	245	173
2歳	279	255	268	191	245
3歳	312	280	254	274	192
4歳	337	306	279	258	272
5歳	275	328	301	279	254
6歳	315	280	319	298	279
7歳	341	307	281	323	295
8歳	322	343	299	281	326
9歳	338	322	337	299	282
10歳	334	335	321	334	299
11歳	373	333	334	319	331

2. 計画の「量の見込み」設定の考え方

「子ども・子育て支援法に基づく基本指針」では、次の手順で量の見込みの設定を行うこととしています。

(1) 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の利用状況及び利用希望の把握

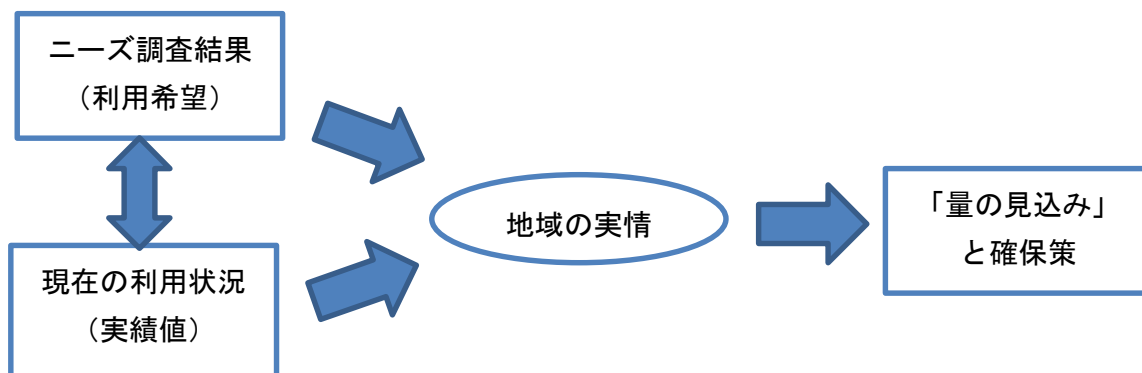
現在の利用状況及び利用希望の把握

市町村は、市町村子ども・子育て支援事業計画の作成に当たり、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の現在の利用状況を把握するとともに、保護者に対する調査等を行い、これらを踏まえて教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを推計し、具体的な目標設定を行うこと。

(2) 計画期間における数値目標の設定

数値目標の設定

市町村及び都道府県は、地域の子どもが必要な教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業を効果的、効率的に利用できるよう、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の現在の利用状況及び利用希望を把握し、地域の実情に応じて、子ども・子育て支援事業計画において、計画期間内における量の見込みを設定すること。



【参考】ニーズ調査結果による潜在家族類型

■潜在的家族類型

	全体		年齢別 (%)			
	件数	%	0歳	1歳	2歳	3歳以上
タイプA ひとり親	21	6.5%	2.2%	1.9%	4.3%	1.9%
タイプB フルタイム×フルタイム	118	36.3%	53.3%	38.5%	41.4%	38.5%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	57	17.5%	6.7%	9.6%	7.1%	9.6%
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	56	17.2%	11.1%	9.6%	24.3%	9.6%
タイプD 専業主婦(夫)	69	21.2%	24.4%	36.5%	21.4%	36.5%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	4	1.2%	2.2%	3.8%	1.4%	3.8%
タイプF 無業×無業	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全体	325	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【前回ニーズ調査データ】

■潜在型家族類型

	全体		年齢別 (%)		
	件数	%	0歳	1・2歳	3歳以上
タイプA ひとり親	21	5.8%	0.0%	5.3%	9.7%
タイプB フルタイム×フルタイム	108	29.8%	40.0%	30.1%	19.4%
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	72	19.8%	10.5%	19.5%	21.9%
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	40	11.0%	13.7%	7.1%	13.5%
タイプD 専業主婦(夫)	121	33.3%	35.8%	38.1%	34.8%
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	1	0.3%	0.0%	0.0%	0.6%
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
タイプF 無業×無業		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全体	363	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※ フルタイム（就労時間：月120時間以上）、パートタイム（就労時間：月120時間未満）

2. 教育・保育の量の見込みの算出

(1) ニーズ調査における算出方法

量の見込みの算出は次の手順で行います。

$$\begin{aligned} & \text{「推計児童数（人）」} \times \text{「潜在家庭類型（割合）」} = \text{「家族類型別児童数（人）」} \\ & \text{「家族類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向率（割合）」} = \text{「量の見込み（人）」} \end{aligned}$$

利用意向（率）の算出方法は次のとおりです。

(ア) 1号認定（認定こども園及び幼稚園）

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率
タイプC'（フルタイム×パートタイム） タイプD（専業主婦（夫）） タイプE'（パートタイム×パートタイム） タイプF（無業×無業）	3～5歳	今後利用したい事業として下記のいずれかを選択した者の割合 ・幼稚園（通常の就園時間の利用）、認定こども園

(イ) 2号認定（幼稚園）

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率
タイプA（ひとり親家庭） タイプB（フルタイム×フルタイム） タイプC（フルタイム×パートタイム） タイプE（パートタイム×パートタイム）	3～5歳	現在利用している事業として下記を選択した者の割合 ・幼稚園（通常の就園時間の利用）

(ウ) 2号認定（認定こども園及び保育所）

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率
タイプA（ひとり親家庭） タイプB（フルタイム×フルタイム） タイプC（フルタイム×パートタイム） タイプE（パートタイム×パートタイム）	3～5歳	今後利用したい事業として下記を選択した者から、(2) 2号認定（幼児期の学校教育の利用希望が強い）を引いた者の割合 ・幼稚園（通常の就園時間の利用） ・幼稚園の預かり保育 ・認可保育所 ・認定こども園 ・小規模な保育施設 ・家庭的保育（保育ママ） ・認可保育所 ・事業所内保育施設 ・その他の認可外保育施設 ・居宅訪問型保育

(工) 3号認定（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率
タイプA（ひとり親家庭） タイプB（フルタイム×フルタイム） タイプC（フルタイム×パートタイム） タイプE（パートタイム×パートタイム）	0～2歳	今後利用したい事業として下記のいずれかを選択した者の割合 ・認可保育所 ・認定こども園 ・小規模な保育施設 ・家庭的保育（保育ママ） ・認可保育所 ・事業所内保育施設 ・その他の認可外保育施設 ・居宅訪問型保育

(2) ニーズ調査結果（平日日中の教育・保育）と実績値

■0歳家庭

①<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

	推計児童数 (令和7年度)	ニーズ量 (令和7年度)	ニーズ量 (令和8年度)	ニーズ量 (令和9年度)	ニーズ量 (令和10年度)	ニーズ量 (令和11年度)
	人	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	163	4	3	3	3	3
タイプB フルタイム×フルタイム		72	69	67	66	65
タイプC フルタイム×パートタイム		5	5	5	5	5
タイプE パート×パート		0	0	0	0	0
全体	163	81	77	75	74	73

上記の児童数「全体」は、0歳児人口総数であり、他の家族類型の児童も含まれる。

<実績値>

【入所児童は各年3月1日現在、令和6年度のみ9月1日現在】

保育所利用

【単位:人】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0歳児	入所児童(幼稚園型Ⅱ含む)	38	37	38	35	30
	待機児童	15	14	23	16	29
	保育需要	53	51	61	51	59

※ 待機児童については、各年11月1日潜在待機児童を含む。

【事務局の考え方】ワークシートによる算出結果と実績値に乖離があることから、前回同様実績を基に算出した量の見込みを計画に盛り込むこととしたい。

【単位:人】

		比較対象年度 (R6)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
0歳児利用児童数見込み	入所児童【保育施設のみ】	30	42	42	42	42	42
	待機児童	22	10	8	7	6	5
	保育需要(①)	52	52	50	49	48	47
対象:0歳(②)		164	163	157	153	151	147
保育需要割合(①/②)		0.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32

※ 待機児童は過去3年間の待機児童及び潜在待機児童の平均値【各年11月1日時点】。

■ 1 歳家庭

①<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

	推計児童数 (令和7年度)	ニーズ量 (令和7年度)	ニーズ量 (令和8年度)	ニーズ量 (令和9年度)	ニーズ量 (令和10年度)	ニーズ量 (令和11年度)
	人	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	169	3	3	3	3	3
タイプB フルタイム×フルタイム		54	54	51	50	49
タイプC フルタイム×パートタイム		13	13	12	12	12
タイプE パート×パート		0	0	0	0	0
全体	169	70	70	66	65	64

<実績値>

【入所児童は各年3月1日現在、令和6年度のみ9月1日現在】

保育所利用

【単位:人】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1歳児	入所児童(幼稚園型Ⅱ含む)	73	87	69	88	71
	待機児童	6	9	0	0	0
	保育需要	79	96	67	83	67

【事務局の考え方】実績値等と照らし合わせた結果、ワークシートによる算出結果が妥当と考え、そのまま計画に盛り込むこととしたい。

■ 2 歳家庭

①<3号認定>（認定こども園及び保育所＋地域型保育）

	推計児童数 (令和7年度)	ニーズ量 (令和7年度)	ニーズ量 (令和8年度)	ニーズ量 (令和9年度)	ニーズ量 (令和10年度)	ニーズ量 (令和11年度)
	人	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	173	5	5	5	5	5
タイプB フルタイム×フルタイム		52	50	50	48	47
タイプC フルタイム×パートタイム		9	9	9	9	8
タイプE パート×パート		0	0	0	0	0
全体	173	66	64	64	62	60

<実績値>

【入所児童は各年3月1日現在、令和6年度のみ9月1日現在】

保育所利用

【単位:人】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2歳児	入所児童(幼稚園型Ⅱ含む)	88	84	89	58	100
	待機児童	0	0	0	0	0
	保育需要	88	84	89	58	97

【事務局の考え方】実績値等と照らし合わせた結果、ワークシートによる算出結果が妥当と考え、そのまま計画に盛り込むこととしたい。

■ 3歳～就学前家庭

・ 幼稚園利用

①<1号認定> (認定こども園及び幼稚園)

	推計児童数 (令和7年度)	ニーズ量 (令和7年度)	ニーズ量 (令和8年度)	ニーズ量 (令和9年度)	ニーズ量 (令和10年度)	ニーズ量 (令和11年度)
	人	人	人	人	人	人
タイプC' フルタイム×パートタイム2	706	121	104	100	88	86
タイプD 専業主婦(夫)		100	86	82	72	70
タイプE' パート×パート2		0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業		0	0	0	0	0
全体	706	221	190	182	160	156

<実績値>

・ 幼稚園利用 (幼稚園+認定こども園1号認定)

【入所児童は各年3月1日現在、令和6年度のみ9月1日現在】

幼稚園利用(教育需要)(幼稚園+認定こども園1号認定)

【単位:人】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3歳～5歳児	入所児童(3歳児)満3歳児含む	165	136	165	162	97
	入所児童(4歳児)	125	120	99	86	98
	入所児童(5歳児)	112	112	101	88	69
	教育需要	257	268	256	237	206

【事務局の考え方】実績値等と照らし合わせた結果、ワークシートによる算出結果が妥当と考え、そのまま計画に盛り込むこととしたい。

・ 保育所利用

②<2号認定> (幼稚園)

	推計児童数 (令和7年度)	ニーズ量 (令和7年度)	ニーズ量 (令和8年度)	ニーズ量 (令和9年度)	ニーズ量 (令和10年度)	ニーズ量 (令和11年度)
	人	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	706	10	8	8	7	7
タイプB フルタイム×フルタイム		67	58	55	48	47
タイプC フルタイム×パートタイム		48	41	39	34	34
タイプE パート×パート		0	0	0	0	0
全体	706	125	107	102	89	88

③<2号認定> (認定こども園及び保育所)

	推計児童数 (令和7年度)	ニーズ量 (令和7年度)	ニーズ量 (令和8年度)	ニーズ量 (令和9年度)	ニーズ量 (令和10年度)	ニーズ量 (令和11年度)
	人	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	706	55	47	45	40	39
タイプB フルタイム×フルタイム		134	115	111	97	95
タイプC フルタイム×パートタイム		149	128	123	107	105
タイプE パート×パート		0	0	0	0	0
全体	706	338	290	279	244	239

【単位:人】	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
保育施設利用計(②+③)	463	397	381	333	327

＜実績値＞

- ・ 保育所利用（保育所＋認定こども園２号認定）

【入所児童は各年３月１日現在、令和６年度のみ９月１日現在】

保育所利用

【単位：人】

		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
３歳～５歳児	入所児童（３歳児）	96	84	77	75	55
	入所児童（４歳児）	91	92	84	79	71
	入所児童（５歳児）	70	92	95	83	80
	待機児童	0	0	0	0	0
	保育需要	257	268	256	237	206

幼稚園等利用（保育需要）（認定こども園２号及び新２号、幼稚園新２号）

【単位：人】

		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
３歳～５歳児	入所児童（３歳児）満３歳児含む	57	74	71	80	85
	入所児童（４歳児）	100	78	85	81	110
	入所児童（５歳児）	83	110	94	98	111
	保育需要	240	262	250	259	306

保育需要合計

【単位：人】

		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
３歳～５歳児	入所児童（３歳児）満３歳児含む	153	158	148	155	140
	入所児童（４歳児）	191	170	169	160	181
	入所児童（５歳児）	153	202	189	181	191
	保育需要	497	530	506	496	512

【事務局の考え方】 実績値等と照らし合わせた結果、ワークシートによる算出結果が妥当と考え、そのまま計画に盛り込むこととしたい。

3. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み

①時間外保育事業

(1) 算出方法

量の見込みの算出は次の手順で行います。

$$\begin{aligned} & \text{「推計児童数（人）」} \times \text{「潜在家庭類型（割合）」} = \text{「家族類型別児童数」} \\ & \text{「家族類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向率（割合）」} = \text{「量の見込み（人）」} \end{aligned}$$

利用意向（率）の算出方法は次のとおりです。

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率
タイプA（ひとり親家庭） タイプB（フルタイム×フルタイム） タイプC（フルタイム×パートタイム） タイプE（パートタイム×パートタイム）	0～5歳	今後利用したい事業として下記のいずれかを選択し、かつ利用終了希望時間が18時以降の者の割合 ・認可保育所 ・認定こども園 ・小規模な保育施設 ・家庭的保育（保育ママ） ・認可保育所 ・事業所内保育施設 ・その他の認可外保育施設 ・居宅訪問型保育

(2) ニーズ調査結果と実績値

	推計児童数 (令和7年度)	ニーズ量 (令和7年度)	ニーズ量 (令和8年度)	ニーズ量 (令和9年度)	ニーズ量 (令和10年度)	ニーズ量 (令和11年度)
	人	人	人	人	人	人
タイプA ひとり親	1,211	26	24	23	21	21
タイプB フルタイム×フルタイム		136	124	120	110	108
タイプC フルタイム×パートタイム		44	40	39	36	35
タイプE パート×パート		0	0	0	0	0
全体	1,208	206	188	182	167	164

＜実績値＞（利用実人数については、3月31日時点、令和6年度のみ9月30日時点）

【単位：人】	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実施施設数	5	5	5	5	4
利用実人数	247	258	250	223	130

※ 令和5年度末で栄町保育所を廃止しているため、令和6年度から公立保育所は4箇所となっている。

■延長保育：普通保育の開所時間(7:15～18:15)の終了後、19:15までの1時間について延長保育を実施する。(※普通保育料とは別に1日200円を徴収する。)

【事務局の考え方】実績値等と照らし合わせた結果、ワークシートによる算出結果が妥当と考え、そのまま計画に盛り込むこととしたい。

②放課後児童健全育成事業（学童クラブ）

（１）算出方法

量の見込みの算出は次の手順で行います。

$$\begin{aligned} & \text{「推計児童数（人）」} \times \text{「潜在家庭類型（割合）」} = \text{「家族類型別児童数」} \\ & \text{「家族類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向率（割合）」} = \text{「量の見込み（人）」} \end{aligned}$$

利用意向（率）の算出方法は次のとおりです。

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率
タイプA（ひとり親家庭） タイプB（フルタイム×フルタイム） タイプC（フルタイム×パートタイム） タイプE（パートタイム×パートタイム）	5歳	放課後の時間を過ごさせたい場所で下記を選択した者の割合 ・放課後児童クラブ

（２）ニーズ調査結果と実績値

<低学年>

	ニーズ量 (令和7年度)	ニーズ量 (令和8年度)	ニーズ量 (令和9年度)	ニーズ量 (令和10年度)	ニーズ量 (令和11年度)
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	67	65	57	56	48
タイプB フルタイム×フルタイム	177	170	151	148	127
タイプC フルタイム×パートタイム	138	133	118	116	99
タイプE パート×パート	0	0	0	0	0
全体	382	368	326	320	274

<高学年>

	ニーズ量 (令和7年度)	ニーズ量 (令和8年度)	ニーズ量 (令和9年度)	ニーズ量 (令和10年度)	ニーズ量 (令和11年度)
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	55	55	55	50	49
タイプB フルタイム×フルタイム	184	185	184	169	163
タイプC フルタイム×パートタイム	101	101	101	93	89
タイプE パート×パート	0	0	0	0	0
全体	340	341	340	312	301

<実績値>（年度初め現在）

【単位：人】

学年	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	児童数 (A)	利用者数 (B)	利用割合 (B/A)	児童数 (A)	利用者数 (B)	利用割合 (B/A)	児童数 (A)	利用者数 (B)	利用割合 (B/A)	児童数 (A)	利用者数 (B)	利用割合 (B/A)	児童数 (A)	利用者数 (B)	利用割合 (B/A)
1年生	297	93	0.31313	269	74	0.27509	310	101	0.32581	301	99	0.32890	264	103	0.39015
2年生	328	83	0.25305	290	74	0.25517	267	78	0.29213	317	91	0.28707	278	89	0.32014
3年生	312	66	0.21154	329	64	0.19453	283	53	0.18728	266	62	0.23308	304	78	0.25658
4年生	314	28	0.08917	309	17	0.05502	319	38	0.11912	285	39	0.13684	264	33	0.12500
5年生	313	14	0.04473	313	9	0.02875	305	11	0.03607	320	14	0.04375	277	17	0.06137
6年生	359	2	0.00557	316	3	0.00949	310	2	0.00645	307	5	0.01629	311	2	0.00643
合計	1,923	286	0.14873	1,826	241	0.13198	1,794	283	0.15775	1,796	310	0.17261	1,698	322	0.18963

(3) 量の見込み

【事務局の考え方】ワークシートによる算出結果と実績値に乖離があることから、実績を基に算出した量の見込みを計画に盛り込むこととしたい。

学年	利用割合 (A)	令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
		児童数 見込 (B)	量の見込 (A×B)	児童数 見込 (B)	量の見込 (A×B)	児童数 見込 (B)	量の見込 (A×B)	児童数 見込 (B)	量の見込 (A×B)	児童数 見込 (B)	量の見込 (A×B)
1年生	32.66%	239	78	257	83	198	64	229	74	227	74
2年生	28.15%	267	75	239	67	257	72	198	55	229	64
3年生	21.66%	290	62	267	57	239	51	257	55	198	42
4年生	10.50%	311	32	290	30	267	28	239	25	257	26
5年生	4.29%	269	11	311	13	290	12	267	11	239	10
6年生	0.88%	290	2	269	2	311	2	290	2	267	2
合計		1,666	260	1,633	252	1,562	229	1,480	222	1,417	218
補正後		1,666	286	1,633	277	1,562	252	1,480	244	1,417	240

※利用割合は、過去5年間の平均利用率です。

※女性の就業率の上昇等を考慮し、10%加算した数値を量の見込みとしています。

③子育て短期支援事業

(1) 算出方法

量の見込みの算出は次の手順で行います。

「推計児童数 (人)」×「潜在家庭類型 (割合)」＝「家族類型別児童数」

「家族類型別児童数 (人)」×「利用意向率 (割合)」×「利用意向日数・回数 (日・回)」＝「量の見込み (人日・人回)」

利用意向 (率) の算出方法は次のとおりです。

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率、利用意向日数・回数
すべての家族類型	0～5歳	利用意向率 本事業の利用について「1. 利用したい」を選択した者の割合 利用意向日数 「1. 利用したい」の合計宿泊数を、「1. 利用したい」を選択した者の数で除した、平均利用意向日数

(2) ニーズ調査結果と実績値

	推計児童数 (令和7年度)	ニーズ量 (令和7年度)	ニーズ量 (令和8年度)	ニーズ量 (令和9年度)	ニーズ量 (令和10年度)	ニーズ量 (令和11年度)
	人	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	1,211	5	5	4	4	4
タイプB フルタイム×フルタイム		89	81	79	72	71
タイプC フルタイム×パートタイム		5	5	5	4	4
タイプC' フルタイム×パートタイム2		3	2	2	2	2
タイプD 専業主婦 (夫)		66	60	58	53	52
タイプE パート×パート		0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート2		0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業		0	0	0	0	0
全体	1,208	168	153	148	135	133

＜実績値＞（こどもショートステイ事業）

事業内容：保護者の疾病等の特別な事情により家庭での養育が一時的に困難となった児童を、児童養護施設等で養育する。

委託先：児童養護施設わかすぎ学園 市内里親宅 2 世帯

こどもショートステイ事業実績

（人日）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
利用者数	4	2	0	84	137

（3）量の見込み

【事務局の考え方】実績値等と照らし合わせた結果、ワークシートによる算出結果が妥当と考え、そのまま計画に盛り込むこととしたい。

（人日）

	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度
利用者数	168	153	148	135	133

※年間の利用日数を 40 日と想定。

- ・委託先については、従前の児童養護施設に加え、令和元年度より登別市内の里親 2 世帯に委託し、預かり先の拡充を図っている。

④地域子育て支援拠点事業

(1) 算出方法

量の見込みの算出は次の手順で行います。

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数」

「家族類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」×「利用意向日数・回数（日・回）」＝「量の見込み（人日・人回）」

利用意向（率）の算出方法は次のとおりです。

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率、利用意向日数・回数
すべての家族類型	0～2歳	利用意向率 下記の事業を現在利用している者と今後利用したい者の割合 ・実施している地域の子育て支援事業 (子育て支援センター・子育てひろば) 利用意向回数 現在利用している者、今後利用したい者、今後利用日数を増やしたい者の月あたり平均利用回数

(2) ニーズ調査結果と実績値

	推計児童数 (令和7年度)	ニーズ量 (令和7年度)	ニーズ量 (令和8年度)	ニーズ量 (令和9年度)	ニーズ量 (令和10年度)	ニーズ量 (令和11年度)
	人	人回	人回	人回	人回	人回
タイプA ひとり親	505	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム		553	542	530	515	504
タイプC フルタイム×パートタイム		93	91	89	87	85
タイプC' フルタイム×パートタイム2		133	130	128	124	121
タイプD 専業主婦（夫）		457	448	438	426	417
タイプE パート×パート		0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート2		80	78	77	74	73
タイプF 無業×無業		0	0	0	0	0
全体	502	1,316	1,289	1,262	1,226	1,200

【注】0～2歳以下家庭のみ

＜実績値＞（利用実人数については、3月31日時点、令和6年度のみ9月30日時点）

【単位:人回】	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実施施設数	4	4	4	4	4
月平均利用者数	1,113	888	1,018	1,140	944

【事務局の考え方】実績値等と照らし合わせた結果、ワークシートによる算出結果が妥当と考え、そのまま計画に盛り込むこととしたい。

※上の実績値は、次ページ(参考)の「富岸子育てひろば」、「中央子育て支援センター」、「登別子育て支援センター」、「鷺別子育て支援センター」の一般開放実績人数の合計を12か月(令和6年度のみ6か月)で割り返した。

【参考】

(単位:人／年)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
富岸子育てひろば	一般開放	3,014	2,920	3,451	4,549	1,717
	育児相談	46	45	30	37	21
	子育て講座	406	458	408	448	167
中央子育て支援センター	一般開放	3,399	2,515	2,713	2,416	1,266
	育児相談	28	5	15	16	7
	子育て講座・あそびの広場	116	75	149	553	137
登別子育て支援センター	一般開放	1,476	951	1,401	1,874	1,193
	育児相談	47	49	42	35	15
	子育て講座・あそびの広場	98	131	137	183	102
鷺別子育て支援センター	一般開放	5,463	4,266	4,651	4,798	1,489
	育児相談	28	18	49	50	15
	子育て講座	288	247	898	1,157	305

⑤一時預かり事業等（一時預かり事業、子育て短期支援事業（トワイライトステイ）、ファミリー・サポートセンター事業（病児・緊急対応強化事業を除く））

（１）算出方法

量の見込みの算出は次の手順で行います。

$$\begin{aligned} & \text{「推計児童数（人）」} \times \text{「潜在家庭類型（割合）」} = \text{「家族類型別児童数」} \\ & \text{「家族類型別児童数（人）」} \times \text{「利用意向率（割合）」} \times \text{「利用意向日数・回数（日・回）」} = \text{「量の見込み（人日・人回）」} \end{aligned}$$

利用意向（率）の算出方法は次のとおりです。

（ア）一時預かり事業（幼稚園型）

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率、利用意向日数・回数
1号認定 タイプC'（フルタイム×パートタイム） タイプD（専業主婦（夫）） タイプE'（パートタイム×パートタイム） タイプF（無業×無業）	3～5歳	<u>利用意向率</u> 下記の者の割合 ア「1号認定の不定期事業の利用希望者の割合」 イ「不定期事業を利用している幼稚園利用者の一時預かりの利用割合 または 幼稚園の預かり保育の利用割合」 <u>利用意向日数</u> 不定期事業の利用意向のある者の1年間の平均日数
2号認定 タイプA（ひとり親家庭） タイプB（フルタイム×フルタイム） タイプC（フルタイム×パートタイム） タイプE（パートタイム×パートタイム）		<u>利用意向率</u> 1.0（100%）※手引きにて指定 <u>利用意向日数</u> 2号認定のうち幼児期の学校教育の利用希望が強いと想定される者の就労日数

（イ）一時預かり事業（幼稚園型以外）

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率、利用意向日数・回数
すべての家族類型	0～5歳	<u>利用意向率</u> 不定期事業の利用希望のある者の割合 <u>利用意向日数</u> 不定期事業の利用意向のある者の1年間の平均日数

(2) ニーズ調査結果と実績値

<一時預かり事業（幼稚園型）>

	ニーズ量 (令和7年度)	ニーズ量 (令和8年度)	ニーズ量 (令和9年度)	ニーズ量 (令和10年度)	ニーズ量 (令和11年度)
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプC' フルタイム×パートタイム2	50	43	42	36	36
タイプD 専業主婦（夫）	46	40	38	33	32
タイプE' パート×パート2	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	96	83	80	69	68

<一時預かり事業（幼稚園型）2号認定による定期的な利用>

	ニーズ量 (令和7年度)	ニーズ量 (令和8年度)	ニーズ量 (令和9年度)	ニーズ量 (令和10年度)	ニーズ量 (令和11年度)
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	496	426	410	357	350
タイプB フルタイム×フルタイム	5,422	4,661	4,485	3,909	3,824
タイプC フルタイム×パートタイム	7,435	6,393	6,150	5,361	5,245
タイプE パート×パート	0	0	0	0	0
全体	13,353	11,480	11,045	9,627	9,419

<一時預かり事業（幼稚園型を除く）>

	ニーズ量 (令和7年度)	ニーズ量 (令和8年度)	ニーズ量 (令和9年度)	ニーズ量 (令和10年度)	ニーズ量 (令和11年度)
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	29	26	25	23	23
タイプB フルタイム×フルタイム	227	207	201	184	180
タイプC フルタイム×パートタイム	106	97	94	86	84
タイプC' フルタイム×パートタイム2	41	40	39	38	37
タイプD 専業主婦（夫）	61	58	56	54	52
タイプE パート×パート	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート2	5	5	4	4	4
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	469	433	419	389	380

<実績値>

①一時預かり事業（幼稚園型）

一時預かり事業（幼稚園型）※幼稚園型Ⅱを除く

【単位：人日】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	16,643	18,037	16,398	17,965	8,188
需要	16,643	18,037	16,398	17,965	8,188

②一時預かり（①以外）

一時預かり事業（幼稚園型を除く）

【単位：人日】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	110	374	181	409	395
ファミサポ	857	1,092	795	651	272
需要	967	1,466	976	1,060	667

【事務局の考え方】実績値等と照らし合わせた結果、ワークシートによる算出結果が妥当と考え、そのまま計画に盛り込むこととしたい。

⑥病児・病後児保育事業

(1) 算出方法

量の見込みの算出は次の手順で行います。

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数」

「家族類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」×「利用意向日数・回数（日・回）」＝「量の見込み（人日・人回）」

利用意向（率）の算出方法は次のとおりです。

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率、利用意向日数・回数
タイプA（ひとり親家庭） タイプB（フルタイム×フルタイム） タイプC（フルタイム×パートタイム） タイプE（パートタイム×パートタイム）	0～5歳	<u>利用意向率</u> 病気やけがで父親または母親が休んで対処した者のうち下記の者の割合。 ・病児・病後児保育施設等の利用を希望する者 ・病児・病後児保育施設等の利用した者 ・ファミサボを利用した者 ・仕方なく子どもだけで留守番させた者 <u>利用意向日数</u> 下記の対処をした者の日数の総計を、利用意向のある実人数で割ったもの

(2) ニーズ調査結果と実績値

<0～5歳以下家庭のみ>

	ニーズ量 (令和7年度)	ニーズ量 (令和8年度)	ニーズ量 (令和9年度)	ニーズ量 (令和10年度)	ニーズ量 (令和11年度)
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	92	84	81	74	73
タイプB フルタイム×フルタイム	2,016	1,834	1,778	1,631	1,596
タイプC フルタイム×パートタイム	674	614	595	546	534
タイプE パート×パート	0	0	0	0	0
全体	2,782	2,532	2,454	2,251	2,203

<実績値>

令和6年度からもみの木こども園で病児保育事業（体調不良児対応型）を実施している。

【単位:人】

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
利用人数	4	3	3	4	8	2	24

【事務局の考え方】

一定数の需要があるものと見込まれるため、ワークシートによる算出結果が妥当と考え、そのまま計画に盛り込むこととしたい。

⑦ファミリー・サポート・センター事業（就学児のみ）

（１）算出方法

量の見込みの算出は次の手順で行います。

「推計児童数（人）」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家族類型別児童数」

「家族類型別児童数（人）」×「利用意向率（割合）」×「利用意向日数・回数（日・回）」＝「量の見込み（人日・人回）」

利用意向（率）の算出方法は次のとおりです。

対象となる潜在家庭類型	対象年齢	利用意向率、利用意向日数・回数
すべての家族類型	5歳	<u>利用意向率</u> 放課後の時間を過ごさせたい場所に下記を選択した者の割合。 ・ファミリー・サポート・センター <u>利用意向日数</u> ファミリー・サポート・センター利用希望者の週当たりの日数

（２）ニーズ調査結果と実績値

<低学年>

	ニーズ量 (令和7年度)	ニーズ量 (令和8年度)	ニーズ量 (令和9年度)	ニーズ量 (令和10年度)	ニーズ量 (令和11年度)
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	34	32	29	28	24
タイプB フルタイム×フルタイム	29	28	25	25	21
タイプC フルタイム×パートタイム	277	267	236	232	199
タイプC' フルタイム×パートタイム2	22	21	19	18	16
タイプD 専業主婦（夫）	63	61	54	53	45
タイプE パート×パート	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート2	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	425	409	363	356	305

<高学年>

	ニーズ量 (令和7年度)	ニーズ量 (令和8年度)	ニーズ量 (令和9年度)	ニーズ量 (令和10年度)	ニーズ量 (令和11年度)
	人日	人日	人日	人日	人日
タイプA ひとり親	0	0	0	0	0
タイプB フルタイム×フルタイム	37	37	37	34	33
タイプC フルタイム×パートタイム	177	177	176	162	156
タイプC' フルタイム×パートタイム2	24	24	24	22	21
タイプD 専業主婦（夫）	69	69	69	63	61
タイプE パート×パート	0	0	0	0	0
タイプE' パート×パート2	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
全体	307	307	306	281	271

<実績値>

【各年度実績、令和6年度は9月末現在】

(人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	1,543	978	643	936	284

【事務局の考え方】実績値等と照らし合わせた結果、ワークシートによる算出結果が妥当と考え、そのまま計画に盛り込むこととしたい。

ファミリー・サポート・センター事業（就学児のみ）

(人)

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
利用者数	732	716	669	637	576